

水稲におけるマメ科緑肥を 活用した栽培体系の検証

1

福島県会津農林事務所 喜多方農業普及所

背景：ヘアリーベッチ（ナモイ）

背景

- ・ 肥料価格の高騰
- ・ みどりの食料システム戦略（化学肥料の使用量削減）
- ・ 肥料被覆プラスチックによる海洋汚染
- ・ 環境保全型農業直接支払交付金制度の取組減少



マメ科の緑肥を
使おう！



マメ科緑肥を使えば・・・

- ・ 肥料価格高騰の影響を受けない
- ・ 化学肥料の使用量を削減できる
- ・ 肥効調節型肥料を使用しないため被覆プラスチックが発生しない
- ・ 特別栽培基準なら環境保全型農業直接支払交付金制度を活用できる

しかし・・・



背景



追肥が必要！



省力的な流し込みで！

いつ水を止めれば良いか
分からない！



省力的な水位センサーで！

目指す姿

- ①基肥を全てマメ科緑肥で代用し、
穂肥を水位センサーを活用した流し込み
で行う栽培体系の確立。
- ②特別栽培基準で取組み、
環境保全型農業直接支払交付金制度を活用。

活動スケジュール

実施年月	活動内容
R4年9月	緑肥播種
R5年5月	緑肥すき込み（現地検討会）
R5年5月	土壌分析
R5年7月	流し込み追肥（現地検討会）
R5年9～10月	収量調査
R5年10月	土壌分析
R6年2月	栽培マニュアル作成・情報発信

活動経過

令和4年度は水位センサーを利用した流し込み追肥を検証



現地検討会を開催



尿素を溶かして
水口から流し込み



水位センサー

活動経過

水位センサー（水田ファーム）

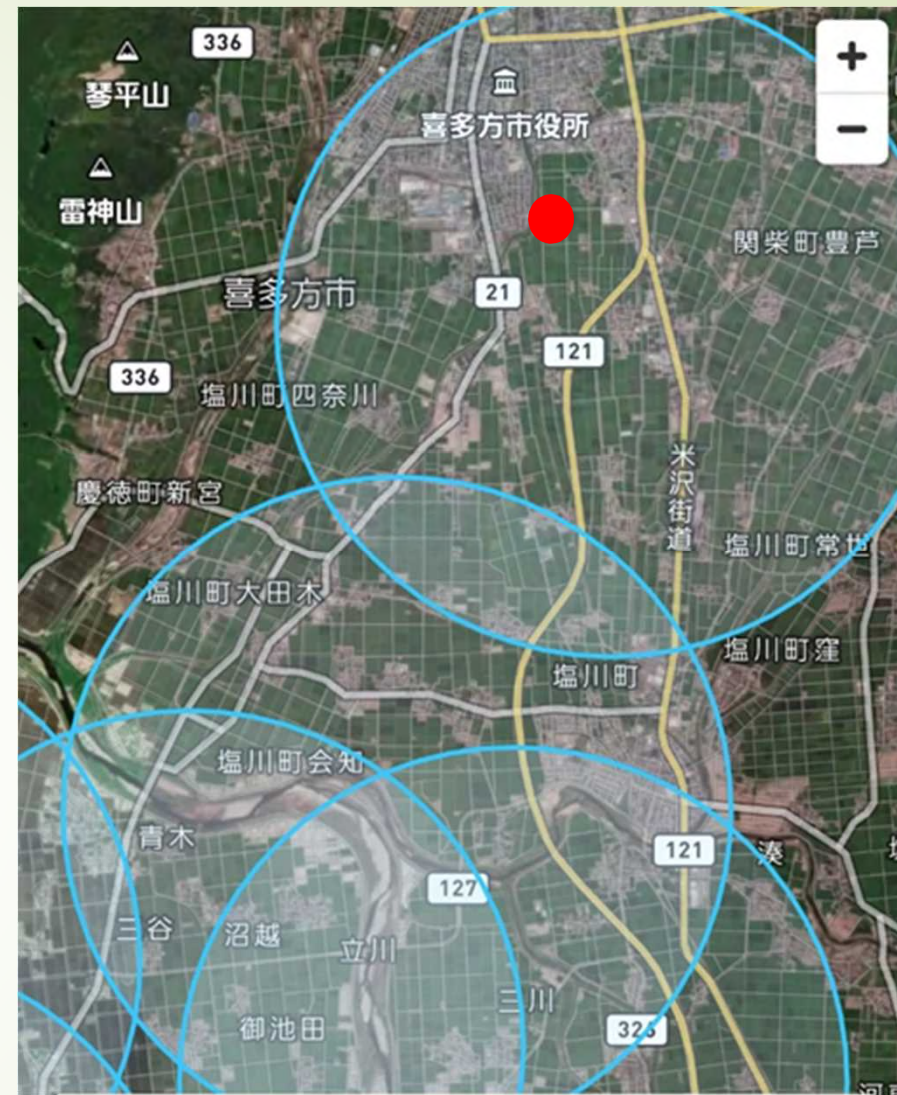
7



水位をグラフで確認できる



異常時はプッシュ通知でお知らせ



水田ファームの通信エリア

●は検証ほ場

活動経過

- ・ 流し込み追肥に係る作業時間は約20分/1ほ場ほど。
- ・ 水稻の生育ムラは見られなかった。
- ・ 収量は雑草（ヒエ等）により低収。

活動経過

9/29 緑肥播種（立毛間）

9



10/4 レンゲ

活動経過

9/29 緑肥播種（立毛間）



10

10/19 レンゲ